

第5学年3組 図画工作科学習指導案

指導者 高橋 佳香

1. 日時・場所 平成19年12月5日(水)第5校時 (13:35~14:20)
4F 家庭科室

2. 題材名 「心 広がる場面」 8時間扱い (絵に表す)

3. 活動の指針(活動を通して育てたい力)

b ふくらむ思い

感じたことや想像したことなどを形や色で思いのままに表す活動を楽しみ、より心地よいもの、楽しいもの、美しいものへと新たな思いをふくらませながら表すことを大切にしていく。

4. 活動の指針と題材のかかわり

本題材「心 広がる場面」では、お話の世界を味わうことにより、心に深く刻まれたことや感動した場面を表現する。

子どもたちの読書量や読書傾向、読解力には差があるが、お話を聞くのは好きで、年に2回のボランティアによる「お話会」をととても楽しみにしている。担任の読み聞かせも熱心に聞いている。現実離れたストーリーを楽しみ、場面や人物の心の美しさにも素直に感動する子が多い。また、体験したことを思い出して表現することよりも想像したことを表現することを好む傾向もある。しかし、今までの図工の学習への取り組み方をふりかえると、全体的に自分の表現に自信の持てない子が多く、友だちと同じテーマで似たような作品を制作する子が何人も見られた。1冊の本を読んでも、感じ方、心に残る場面、心に描くイメージは一人ひとり違うはずである。本題材では、一人ひとりが自分の感動をみんなによく伝えるために、画面構成や色の使い方、技法などを自分なりに工夫して絵に表すことができるようにしたい。

そのために、絵に描きたい場面を簡単なスケッチやメモで表したり、話したりする中で自分の表したいことをはっきりイメージさせ、教師はその内容をよく把握し、必要な資料を用意したり技法を紹介したりなどの支援に役立てたい。

子ども達が自分の感動を安心してのびのびと表現できるよう、子どもの心に寄り添いながら支援をしていきたいと思う。

5. 今年度の研究の重点として

(1)「思いがふくらんでいく」ための具体的な手立て

子どもたちの読書量や読書傾向、読解力に差があるので、絵に表したくなるような美しい場面がいくつもありそうなお話を教師が選んで読み聞かせ、その中から描く場面を選ばせることにした。ここでは、「銀河鉄道の夜」と「トリ・サムサ・ヘッチャラ~あるペンギンのだいそれた陰謀」の2冊を選んだ。それ以外にどうしても描いて見たいお話の本がある場合は、それも認める。

心に残った場面をいくつか選んで簡単なスケッチやメモに表し、その中から、一番絵に表したい場面を決めるようにする。その際、自分で本を読みたい子に貸し出したり、自分が描く場面をもう一度読み返したい子には文章のコピーを渡したりする。

星空、雪景色、春の野山や町の様子ので分かる写真集や列車の図鑑なども用意し、子どもたちの経験不足を補い、イメージをふくらませる手助けとする。

また、友達と情報交換をすることにより、自分と友だちの感じ方の違いに気づき、自分の感動がみんなに良く伝わるように、表現の仕方を工夫しようとする意欲がもてるようにする。

(2)「思いをふくまらず創造的な技能」のための具体的な手立て

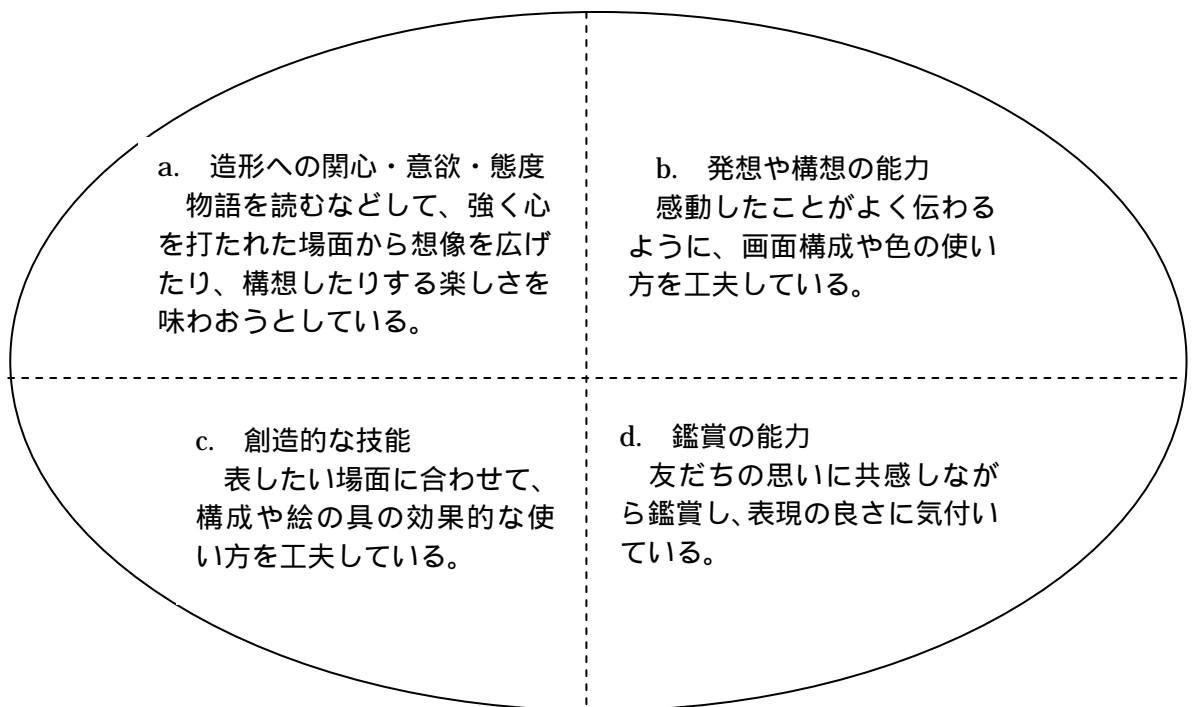
表す場面が決まったら、画面構成や色づかいを変えて何通りかラフスケッチをさせ、自分の感動がよく伝わるような構想を工夫できるようにする。必要に応じて、それぞれのパーツを別々の紙に書き、自由に並べ替える方法も提示する。

写真、図鑑、技法を紹介する資料などを自由に見ることができるようにし、表現に生かすことができるようにする。

6. 題材のねらい

お話の世界を味わい、感動したことがよく伝わるように、工夫して絵にする楽しさを味わう。

7. 題材の評価規準 (重観点)



8. 準備

児童 鉛筆・色鉛筆・水彩用具一式・サインペン・はさみなど

教師 写真集・図鑑・画用紙・色画用紙・金網・ぼかしブラシ・ストローなど

9. 指導と評価計画（8時間扱い）

時間	活動内容 予想される子どもの主な活動	教師の働きかけ 評価規準・・・評価方法
事前	物語を読んだり聞いたりして、心を動かされた場面や感動した場面などをスケッチしたりメモしたりしておく。	絵に表したくなるようなお話をいくつか紹介したり、読み聞かせたりしておく。 子どもが選んだ本や、かいたメモ・スケッチなどの内容を把握しておく。
一次 一時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>お話を読んで感動した場面をスケッチしてみよう。</p> </div> <p>お話を読んだり聞いたりして感動した場面をスケッチする。 自分の感動した場面を進んでスケッチする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬が去り、春の景色に変わっていく場面を描こう。 どう描いたらよいか分からず、困っている。 ・何をどこに描いたらいいんだろう。 スケッチをもとに、どうして自分がその場面に感動したのかを発表する。 	<p>画面構成や色づかいを変えていくつか描いてみるよう助言する。</p> <p>写真集や図鑑を用意し、場面の様子をイメージしやすくしたり、描き表したりしやすくする。 どう描いたらよいか分からず、困っている子には、一つ一つのパーツを別々の紙に描いて、並べ替えながら考えると良いことを知らせ、画面構成をいろいろ工夫させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【関】【発】・・・活動の様子・スケッチ・発言</p> </div>
二次 六時間 2 8 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>お話を読んで感動した場面を工夫して絵に表してみよう。</p> </div> <p>スケッチを修正したりトリミングしたりして絵に表していく。</p> <p>自分のイメージしたことを描いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下絵は、サインペンで描いてみよう。 ・汽車は、切り絵にして貼ってみよう。 イメージどおりに描けなくて困っている。 ・汽車がうまく描けないよ。 <p>場面の雰囲気が出るように工夫して彩色する。 色の使い方や技法を工夫して彩色している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スパッタリングで星空を表そう。 ・白と青を使って、雪景色の感じを出そう。 イメージどおりに彩色できなくて困っている。 ・色をにじませたいけど、うまくいかないよ。 	<p>必要に応じて、色画用紙を使わせるようにする。 描画材料による効果の違いを紹介し、自分のイメージにあった方法を選べるようにする。 登場人物などを別に描いて貼る方法もあることを知らせる。</p> <p>にじみ・ぼかし・スパッタリングなどの技法を確認する。</p> <p>写真集や図鑑を自由に見ることができるようしておく。</p> <p>子どもの思いを認めながら、イメージした情景や雰囲気がよく表れるように、表現の仕方をいっしょに考えて助言する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【発】【技】・・・作品</p> </div>

<p>三 次</p> <p>一 時 間</p>	<div data-bbox="320 192 1409 271" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;"> <p>みんなの作品を鑑賞しよう。</p> </div> <p>自分が感動した場面をどのように工夫して表したかを発表する。</p> <p>友だちの作品の工夫したところや良い所を見つける。</p> <p>友だちが表したかった場面について、共感しながら鑑賞している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スパッタリングを生かして、星空の感じがよく表れているね。 <p>友だちの作品の工夫や良い所を見つけられない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことを書いたらいいかわからないよ。 	<p>全員の作品を掲示しておき、相互鑑賞できるようにする。</p> <p>様々な観点から工夫や良い所を見つけるよう助言する。</p> <p>鑑賞の観点を示す。</p> <div data-bbox="804 618 1434 703" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【鑑】・・・発言・カード</p> </div>
-------------------------------------	--	---

10. 本時の活動と指導 (2 / 8 時間)

(1) 目標

お話を読んで感動したことがよく伝わるように、工夫して絵に表す。

(2) 展開

子どもの主な活動内容 予想される子どもの主な活動	教師の働きかけ 【評価規準】・・・評価方法
<p>お話を読んで感動した場面を工夫して絵に表してみよう。</p>	
<p>本時の活動を知る。</p> <p>感動した場面を工夫しながら絵に表していく。 下絵を描いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下絵は、サインペンで描いてみよう。 ・割り箸ペンを使って墨汁で描いてみよう。 ・家や木に雪が積もっている様子を表そう。 ・遠くは冬景色にして、近くは春の景色にしよう。 <p>背景を表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先に背景を描いて、人物は貼り絵にしよう。 ・にじみとスパッタリングで星空を表そう。 ・ <p>イメージどおりに描けなくて困っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汽車がうまく描けないよ。 ・ヒントになるような写真はなかな。 ・ぼかしで空を表したいけど、難しそう。 ・四季ホテルはそれぞれの季節の雰囲気を出したいけどどうしたらいいんだろう。 <p>感動したことを伝えるために工夫したことを発表する。</p>	<p>スケッチを修正したりトリミングしたりして下絵を描くことを知る。</p> <p>描画材料による効果の違いを確認し、自分のイメージにあった方法を選べるようにする。</p> <p>にじみ・ぼかし・スパッタリングなどの技法を確認する。</p> <p>必要に応じて、色画用紙を使わせるようにする。</p> <p>登場人物などを別に描いて貼る方法もあることを知らせる。</p> <p>写真集や図鑑を自由に見ることができるようにしておく。</p> <p>技法の練習をしたり、試しをするための紙を用意しておく。</p> <p>必要に応じて、自分が描く場面の話を読み返せるようにコピーを用意しておく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【発】お話を読んで感動したことがよく伝わるように、画面構成を工夫する。</p> <p style="text-align: right;">・・・作品</p> </div>